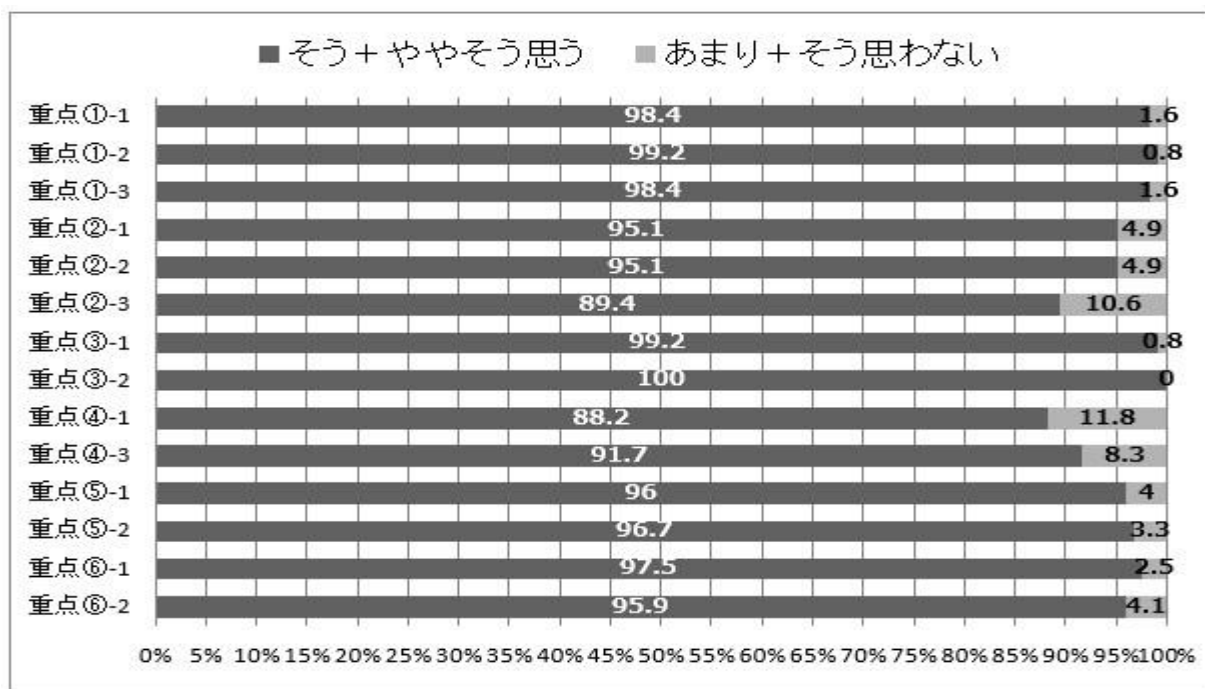


<教職員アンケート集計結果に関する分析・考察>



【重点目標シート集計結果に関する分析】

① 評価が良かった項目(そう思う+ややそう思う:91%以上とする)について

14項目中12項目(全体の86%)で評価が良かったが、昨年度より1項目、7ポイント減っている。

重点目標①「児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実」については、個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用するとともに、保護者や学校外の関係諸機関と連携・協力しながら指導・支援の充実に努めていることを評価したものと考えられる。

重点目標③「キャリア教育の充実」では、進路指導部を中心に、労働・福祉関係機関との連携を図りながら、児童生徒一人一人の発達段階に即した進路学習や進路の実現を目指す取り組みに対して高評価が得られたものと考えられる。

重点目標⑤「危機管理体制の確立」では、防災教育部や保健安全指導部を中心に、学部分散での避難訓練や学部ごとの緊急時シミュレーションの実施、新型コロナウイルス感染症防止の取り組みに力を入れていること、また、実際の救急搬送を伴うケースでそれら訓練が生かされていることが評価されたと分析される。

重点目標⑥「センター的機能の発揮」については、地域支援部を中心に校内支援体制を充実させるとともに、地域支援部が関係諸機関と連携を深め、地域への啓発や支援を行っていることが評価されたと考えられる。

② 評価があまり良くなかった項目(あまり+そう思わない:10%以上とする)について

14項目中2項目(全体の14%)、重点目標②-3教職員の専門性の向上に関する項目で評価があまり良くなかった。また、重点目標④-1 地域との交流及び共同学習に関する項目でも評価があまり良くなかった。これら2つの項目は、特にコロナ禍の影響で交流や研修などの機会が得られなかったことが大きな要因と考えられる。

来年度に向けては、新たな交流の仕方を模索したり、リモートでの研修に積極的に参加したりすることが必要であると考えられる。